

31056 地域看護実習Ⅱ（公衆衛生看護） Community Nursing Practicum II (Public Health Nursing)		4 年次 集中 3 単位	
担当者	柳澤 尚代／松原 智文／齋藤 澄子／浦橋 久美子／白木 裕子	履修可能学科	N 必
		関 連 資 格	看護・保健（N）
サブタイトル	住民の健康を守るための地域看護活動の実際		
授業内容 ・ ねらい	【ねらい】 ・保健師が行う地域看護活動は、人々が健康で安心して生活するために行われそのために地域の環境や資源を整え、健康危機を予防しその発生時には適切に対応するものである。 ・本実習は公衆衛生看護の視点から保健所や市町村保健センターで行われる看護活動に焦点をあてる。 ・地域住民の健康を守るための諸制度や住民のニーズに応えた行政サービスのあり方、そして、地域住民が主体的に健康を守るための地域看護活動の実際や保健師の役割について学習する。		
授業計画	1. 保健所：1週間 【目的】地域保健の広域的・専門的・技術的拠点としての保健所の機能やそこで活動する保健師の役割を理解する。 【目標】(1)保健所の機能を理解する。(2)保健所保健師活動を理解する。 2. 市町村保健センター：2週間 【目的】地域住民に身近な対人サービスを総合的に行う拠点としての保健センターの機能や保健師の役割を理解する。 【目標】 (1)市町村の保健福祉行政体制について理解する。 (2)地域の特徴を知り健康問題の抽出ができる。 (3)地域住民のセルフケア能力を高めるための支援を理解する。 (4)地域ケアシステムと関係機関・職種との連携のあり方を理解する。 (5)地域看護活動における看護倫理について理解する。 3. 実習方法 (1)保健所：4年次生を、1グループ4～11名の学生で構成し、5保健所に配置する (2)各市町村の保健センター：4年次生を1グループ3～5名の学生で構成し、11市町村に配置する。 4. 事前学習 (1)各種統計資料、保健福祉関係資料を通して、実習地域の概況を理解する。 (2)実習地域で行われている各種保健福祉事業と法的根拠を学習する。		
教科書 参考書	授業で用いた教科書・参考書・配布資料・VTRの視聴のほか、必要に応じ教員が提示する。		
評価方法	実習への参加状況（事前準備、出席状況、態度）、実習記録などから総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	実習前に、自発的に実習施設に関する情報を把握するなど事前学習を必ず行う。		